

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第28号

平成19年度 埋蔵文化財の発掘調査について

埋蔵文化財とは、「土地に埋蔵されている文化財」のことで、住居跡、貝塚、古墳などの「遺構」と、土器、石器などの「遺物」のことを言います。祖先が営んでいた生活の直接的な資料であり、地域の歴史や文化を形作る貴重な財産です。

埋蔵文化財が所在する場所を「埋蔵文化財包蔵地」と呼びますが、一般的には「〇〇遺跡」と呼ばれています。さいたま市内には、現在1,126箇所の遺跡が確認されています。

遺跡は、一度壊れてしまうと、二度と元には戻せないものです。現状のまま保存できることが望ましいのですが、やむを得ず遺跡が壊れてしまう場合には、事前に発掘調査を実施し、記録として保存することを行っています。

平成19年度は、さいたま市教育委員会、さいたま市遺跡調査会、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が27遺跡で35件実施されました。これらの発掘調査の中から、主な成果をご紹介します。

かめざいけみなみいせき 〈亀在家南遺跡の調査(中央区)〉

中央区大戸6丁目に所在する遺跡で、JR埼京線南与野駅の東400mほどの所にあります。鴻沼川左岸の台地上に立地しています。これまでの調査では、縄文時代の打製石斧などが出土しています。また、付近には亀在家東遺跡、亀在家西遺跡、西谷北遺跡など縄文時代の遺跡が数多く、南北に連続して所在しています。

今回の調査は、個人住宅建設に伴いさいたま市教育委員会が3月から4月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代の住居跡8軒などが発見され、多くの土器や石器が出土しました。



▲縄文時代の住居跡

ひがしうらにし いせき 〈東裏西遺跡の調査（緑区）〉

緑区大字大門地内に所在する遺跡です。綾瀬川右岸の浸食谷に面した台地上に立地しており、谷を挟んだ北側300mほどの所に下野田本村遺跡があります。この遺跡からは、これまでの調査で縄文時代から弥生時代の住居跡などを発見しました。また、弥生時代の住居跡から銅製の矢じりも出土しています。

今回の調査は、民間開発事業に伴いさいたま市遺跡調査会が3月から6月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代の住居跡4軒、弥生時代の住居跡18軒などを発見しました。また、弥生時代の住居跡は、9軒が火事にあっていました。東裏西遺跡は、下野田本村遺跡と関連があるムラの跡と考えられます。



▲弥生時代の住居跡

しものだほんむらいせき 〈下野田本村遺跡の調査（緑区）〉

緑区大字下野田地内に所在する遺跡で、埼玉高速鉄道浦和美園駅から西へ100mほどの所にあります。綾瀬川右岸に面した台地上に立地しています。この遺跡からは、これまでの調査で縄文時代、弥生時代、平安時代の住居跡などが発見されており、ムラの跡と考えられています。

今回の調査は、区画整理事業に伴いさいたま市遺跡調査会が6月から9月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代の住居跡1軒、弥生時代の住居跡23軒、環濠1条などを発見しました。住居跡からは、管玉という装飾品が出土しました。また、ムラを取り囲む環濠が発見されたことから、下野田本村遺跡は、この地域の中心的なムラであったと考えられます。



▲航空写真



▲弥生時代の住居跡

おおた かいづか 〈太田貝塚の調査（岩槻区）〉

岩槻区太田1丁目に所在する貝塚遺跡で、東武鉄道野田線岩槻駅の東1kmほどの所にあります。元荒川右岸の浸食谷しんしょくくに面した台地上に立地しています。この遺跡は、近世岩槻城下町の武家屋敷地にあり、これまでの調査で縄文時代の住居跡、貝塚のほか、江戸時代の建物跡が発見され、また、陶磁器も大量に出土しています。

今回の調査は、個人住宅建設に伴いさいたま市教育委員会が7月から8月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代の住居跡や戦国時代から江戸時代の建物跡などが発見され、多くの土器や陶器片などが出土しました。



▲江戸時代の建物跡（人が立っている所が柱跡）

しゆくみやまえ い せき 〈宿宮前遺跡の調査（桜区）〉

桜区大字宿地内に所在する遺跡です。荒川と鴨川に挟まれた自然堤防上に立地しています。この遺跡からは、これまでの調査で古墳時代から平安時代の住居跡が発見され、また、平安時代の布目瓦、仏像の頭髮部分である螺髪なども出土しています。

今回の調査は、民間開発事業に伴いさいたま市遺跡調査会が8月から10月にかけて実施しました。調査の結果、古墳時代から平安時代の住居跡10軒、平安時代の土坑、柱穴列などを発見しました。古墳時代の住居跡からは、完全な形の甕形土器を発見しました。また、平安時代の住居跡はかまどの構造がよく残っていました。



▲平安時代の住居跡

TOPICS 1

●「田島ヶ原サクラソウ自生地」で〈草焼き〉を実施しました。

1月15日から18日まで、国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」及び実験圃場で「草焼き」を行いました。冬季に枯れた自生地内のオギやヨシを焼き、その灰の持つ栄養分を土地に返してあげることなどを目的としています。かつては実施していた草焼きを一時中断していましたが、ほぼ10年ぶりに再開したものです。

4月にはサクラソウの開花期を迎え、ほかにもノウルシやチョウジソウなど多くの野草もご覧いただけます。

ぜひお出かけください。



▲草焼きの様子

TOPICS 2

●第五回「さいたま市郷土芸能のつどい」を開催しました。

昨年(2018年)の11月23日、大宮ソニックシティ小ホールにおいて、「郷土芸能のつどい」を開催しました。

今回は、市指定無形・無形民俗文化財の木遣歌・宿の祭ばやし・指扇の餅搗き踊り・見沼通船舟歌・南部領辻の獅子舞を各保存団体にご披露いただきました。木遣歌や南部領辻の獅子舞では、子どもたちも日頃の練習の成果を発表しました。市内各所で催されている祭礼等を一堂に観覧できる貴重な機会であり、多くの方々にご堪能いただきました。

今年の開催は、同会場にて11月24日を予定しています。どうぞお楽しみに。

●日進餅つき踊り保存会が、日本財団から助成を受けました。

市指定無形民俗文化財「日進餅つき踊り」の保存団体である「日進餅つき踊り保存会」は、伝統文化を継承する団体を支援する、日本財団からの助成を受けました。

この助成と市の補助により、白と杵を新調し、年が明けた1月1日、1,500人以上が参拝するなかで、日進神社にて初搗きを披露しました。曲搗きでは、リズムカルに杵で白を叩くと澄んだ音が響きわたっていました。



▲餅つき踊りで新年を迎える

お知らせ

市内各所で開催されるお祭などに、指定文化財も参加しますので、ぜひお出かけください。なお、天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。当課までお問合せください。

期 日	名 称	時 間	場 所	内 容 等
5月11日(日) (予定)	南部領辻の獅子舞	①10時～ ②13時～	①鷲神社 (緑区南部領辻2941) ②南部領辻地区内	勇壮な獅子舞が公開されます。(雨天中止) 春の祭礼は鷲神社を出発し、南部領辻地区内を廻る村祈禱があります。

文化財紹介

そばがいと

－側ヶ谷戸古墳群11号古墳出土埴輪－ 市指定有形文化財(考古資料)(平成15年指定)

側ヶ谷戸古墳群は大宮区三橋4丁目地内にある群集墳の総称であり、6世紀後半から7世紀後半に鴨川流域を舞台として活躍した豪族たちが遺した古墳です。史跡としても5基の古墳(稲荷塚古墳・台耕地稲荷塚古墳・茶臼塚古墳・山王山古墳・上之稲荷古墳)が指定されています。

有形文化財に指定されている13点の埴輪は、11号古墳から出土したもので、古墳時代後期(6世紀後半)の埴輪祭祀の様子が復元できる貴重な資料です。出土した人物埴輪(男子像・女子像)や馬形埴輪は、さいたま市立博物館の常設展示室でご覧いただけます。



▲馬形埴輪

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第28号

平成20年3月28日

(編集・発行)

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>